



Kiwi

Report

第2号 2025/11/7

◆11月6日（木）晴れ 気温 23℃

* ファン(fun)vs ファン(不安)メーター 40vs60 元気メーター 75% * (みんなの平均値)

～初登校～

昨日のホストとの初対面から、それぞれが別々のホームステイ先で一晩を過ごした後、今日は初めてダーフィールドハイスクール(DHS)への登校日となりました。

たくさんの校舎がある広大な学校の敷地内にスクールバスが到着し、早速プチ迷子状態に！初めての登校は慌ただしく始まりました。(本人の名誉のため、遅刻はしていないことを申し添えます。)



～正門にて～

みんなにホスト宅での様子を聞いてみると、英語でのコミュニケーションの難しさが真っ先に口をついてきました。話している内容がわからないことにみんな苦労しているようです。長旅に加えて慣れない環境にいつもより笑顔がちょっと少なく疲れている様子もありますが、夜はよく眠れたとのことで一安心しました。

～マオリ式歓迎式～

学校に着くと早速現地の生徒たちとの対面式が始まりました。イングランド校長先生からマオリ語での歓迎挨拶やホンギと呼ばれる鼻と鼻をくっつける挨拶など、私たち訪問団をNZの先住民マオリ文化式で温かく歓迎してくれました。訪問団からは、「YUKI」が生徒を代表して英語で挨拶をした後、歓迎の歌に対する返歌として「パプリカ」をみんなで踊り付きで披露しました。



～「RIN」返歌の説明～



～パプリカ披露～



～挨拶(ホンギ)～

この曲を選んだ理由や歌詞の意味を「RIN」から英語で説明したこともあり、校長先生からは「歓迎式にふさわしい歌でした」と喜ばれ、練習の成果が実を結び発表は大成功！その後、DHSの生徒からクッキーやジュースをいただき、交流の輪を広げることもできました。



～交流タイム～

学校では、それぞれにバディという行動を共にしてくれる特定の現地の生徒がついてくれます。スムーズな学校生活を送るには、バディとのコミュニケーションも大切になってきます。歓迎式が終わると今度はバディとの対面。緊張の連続ですがなんとか頑張っています！

オリエンテーションとして、インターナショナルスタッフのアマンダ先生と日本文化に関心を持つ2人の現地学生から、広大な学校の敷地を案内してもらったり、留学生の受け入れについての説明を受けて、難しい英語に苦労しながらもなんとなく雰囲気がつかめてきたようです。

～町長表敬訪問～

昼休みには、昼食を食べながらセルウィン町長表敬訪問の際に披露する日本の文化発表の最終チェック。早川すみ先生の前でリハーサルをしっかりと行い、準備万端で、徒歩で会場の公立図書館に移動。



～図書館～

表敬訪問では、就任したばかりのグリドン町長から歓迎の挨拶をいただき、生徒を代表して「YUMI」がスピーチ。

そして、いよいよ練習の成果を披露する日本文化の発表！

みんな緊張した様子でしたが、YUMIの「手編みのぬいぐるみ」、RINの「盆踊り」、KENSINの「合気道」、KAEDEの「折り紙」、最後はYUKIの「お茶」を紹介し、実際にお茶をたて、町長や議会議員、交流委員会の皆さんに振る舞い5人全員が頑張った成果を発揮し大成功！！



～文化発表～



～全体発表～

その後は、町長や議会議員、交流委員会の皆さんとティータイム！ケーキやクッキー、ジュースなどを美味しくいただきました。また、町長からは歴代の町長の名前が刻まれたネックレスを見せていただくなど貴重な経験をさせていただき、無事に訪問を終えました。

学校が終わればすぐにホームステイ先に戻って2日目の生活が始まります。言葉も気持ちも通じ合って昨日より今日がもっと楽しくなることを期待して、明日の朝の報告を待ちます。

記念品もいただきました！！

